

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果検証シート②

2025年大阪・関西万博を契機とした「観光コンテンツ整備」事業【事業期間:令和5年度～令和7年度】

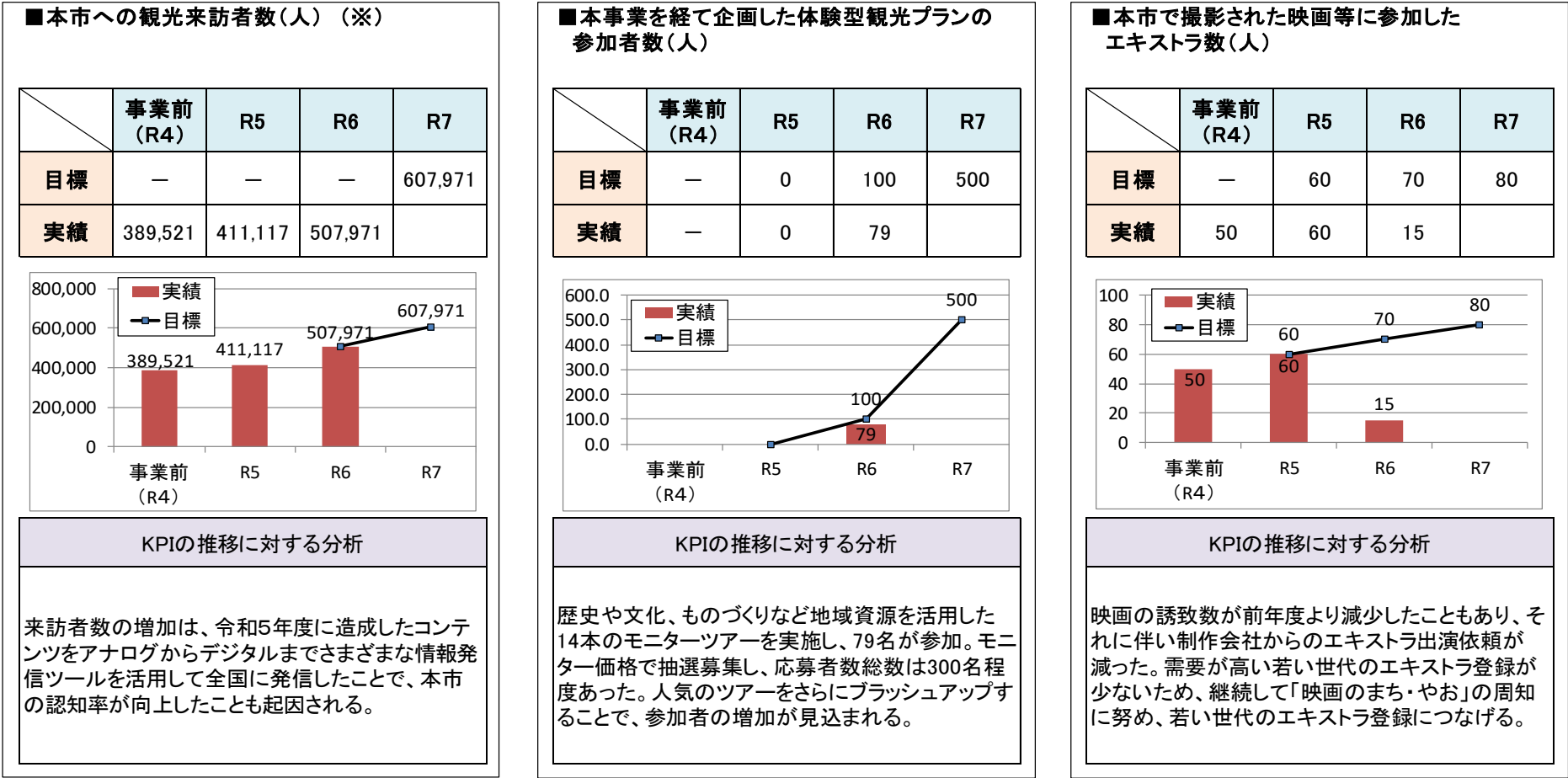
(1)事業内容

本市には、河内音頭、高安能等の伝統文化をはじめ、河内木綿や八尾の枝豆、若ごぼう等の伝統産業や特産品、自然豊かな高安山、国史跡である心合寺山古墳、由義寺跡や寺内町等の歴史資産等、地域資源が数多く存在するがそれぞれつながりは希薄である。これらの地域資源をオンラインで体験できるよう整備することで、いつでも・どこにいても本市の魅力に触れることが可能となり、国内外の人への訴求力を高めることにつながり、効果的な魅力発信と国内外からの来訪者増につなげる。

要素事業	取り組みの概要(実績ベース)	今後の方針等
①観光コンテンツの整備	(1)コンテンツ情報発信委託費【実績額:9,289,500円】 令和5年度に造成した観光コンテンツの周知・認知度向上に関する取り組みを実施した。委託事業者が運営する国内最大手のOTAサイト「じゃらんnet」への特集ページ掲載やじゃらん本誌への掲載、その他じゃらんメディアの活用、SNS広告の発信などにより、国内に効果的な魅力発信を行った。 (2)体験型観光プラン誘客委託費【実績額:4,972,000円】 歴史や文化、ものづくりなど本市の多様な地域資源を活用した計14本のモニターツアーを実施し、79名が参加した。参加者の内訳は、八尾市在住が46名、八尾市以外の大阪府在住者が21名、その他が12名で属性としては50～54歳が最も多かった。モニター価格での参加者募集ということもあり、300名近くの方から応募があった。参加者からアンケートを実施し、今後のブラッシュアップの材料となったほか、実施したツアーをOTAサイトに継続掲載することで自走化を促せた。	令和6年度に実施したモニターツアーの結果を踏まえ、コンテンツをブラッシュアップし、より魅力的なコンテンツを発信することで本市に訪れる観光客等の関係人口の増加につなげる。
②「映画のまち・やお」体験	(1)デジタルマップ整備【上記(1)コンテンツ整備に含む】 観光コンテンツで造成した八尾まる見えキューブには、市内の地域資源を立体的なキューブ上に落とし込んでいくことができる。その中に主な映画のロケ地を登録することで、ロケ地を1つの観光コンテンツとして体感してもらう。	「映画のまち・やお」を観光コンテンツとともに国内外にPRすることで、映画の誘致活動やロケ地訪問につなげる。
③「八尾の歴史体験」	(1)歴史体験整備【上記(1)コンテンツ整備に含む】 モニターツアーで、心合寺山古墳や高安千塚古墳群など、歴史も体験できるツアーを5本実施した。 (2)由義寺跡美装化【実績額:2,499,640円】 由義寺跡においては、イベント開催場所としても活用することから、定期的な除草業務を実施することで美装化を図った。	本市の歴史体験を含む体験ツアーを継続的に実施することで、多くの方に本市の歴史資産の魅力に触れてもらう。また、由義寺跡については、今後もイベントの開催場所などとしても活用を図る。

(2)総合戦略における位置づけ：基本目標6 行ってみたい、関わってみたい、住みつづけたい、魅力があふれるまち

(3)重要業績評価指標(KPI)



(※)当初設定した一つのKPIは「大阪府外から本市への来訪者数(人)」でしたが、参照元であったRESASのリニューアルに伴い数字を補足できなくなってしまったため、国に対してKPI変更の手続きをしています。新たなKPIについては、公益社団法人日本観光振興協会が提供する「デジタル観光統計オープンデータ」の数字を基に算出する「本市への観光来訪者数(人)」としております。